

Local Area News

「下之町絶滅危惧商店街集」 を制作・配布 沼田市下之町商店街(振)

商店街区に立地する「テラス沼田(市役所兼複合施設)」のオープンに合わせて、商店街をPRしようとして、「笑ってー買ってークーポン付き下之町絶滅危惧商店街集」を制作、9月19日と21日の2日間、テラス沼田において開催されたフリーマーケット等で配布を行った。(配布数は500部)

冊子は、大阪市の商店街で行われた企画を参考に、傳田直史理事長が中心となって企画。フルカラー10ページで、商店街の店主ら

の写真を1ページに1店舗ずつ掲載。商店街で使える200円割引クーポン券も付けた。傳田理事長は「商店街は『絶滅危惧』と言われているが、地域コミュニティの中心として無くてはならない存在。本冊子によって地域の方々に商店街を知ってもらい、来店のきっかけとなればうれしい」と語った。



冊子の中身



冊子の表紙

「擬人化キャラで 伊香保をPR」

伊香保温泉旅館(協)青年部

9月18日、伊香保温泉を擬人化したキャラクター「温泉むすめ伊香保葉風(はな)」のオリジナルグッズの販売を開始した。

「温泉むすめ」は、アニメコンテツを活用することで温泉地を活性化しようと、イベント運営を手掛ける(株)エンバウンド(東京都)が平成29年に企画。現在、国内の温泉地約120カ所にキャラクターが存在する。

「伊香保葉風」は、本年6月より青年部が広報活動を開始し、PR策の第一弾として、伊香保温泉ビジターセンターにキャラクターパ



販売された「伊香保葉風」のグッズ

ネルを設置していた。今回はPR策の第二弾として、同キャラクターをデザインしたアクリルキーホルダーと缶バッジを販売する。キーホルダーは800円、バッジは300円で、伊香保温泉石段街の土産店「すみよしや」で取り扱っている。

「4県青年中央会交流会」 に参加

群馬県中小企業団体青年協議会

組合青年部の若手経営者・後継者で組織する群馬県中小企業団体青年協議会は、9月27日、栃木県宇都宮市「宇都宮東武ホテルグランデ」において開催された4県(茨城・千葉・群馬・栃木)青年中央会交流会に参加した。(本県からは、諸田宏会長ほか8名が参加) 本交流会は、地域・業種の垣根を越えて、情報交換・交流を通じて組合青年部が連携を深めることで、昨今の厳しい経営環境を乗り越えようと毎年開催されており、今回は栃木県当番での開催となった。

交流会では、栃木県原産で加工性に優れ、温かみのある優しい自

LAW



大谷石の採掘場を視察

然の風合いが特徴の「大谷石」の採掘場の視察のほか、(協)宇都宮餃子会理事兼事務局長・鈴木章弘氏による講習会(テーマ:みんなで作ってきた餃子のまち宇都宮! 挑戦の裏物語)が行われた。



(協)宇都宮餃子会鈴木局長による講演

講習会終了後には、交流懇親会が開催され、参加者は大いに懇親を深めた。

「優良事業所視察研修会」を実施

太田機械金属工業(協)

9月27・28日の日程で、「優良事業所視察研修会」を実施した。視察先は、静岡県沼津市の(株)明電舎沼津事業所。組合員・賛助会員23名が参加した。

同事業所は、制御装置や変電機器、電子機器等の製造を行い、明電舎の一大生産拠点となっている。

当日は、沼津事業所の担当者による概要説明の後、2班に分かれ



沼津事業所ロビーにて記念撮影



明電舎担当者による概要説明

て、電力変換装置の製造工程や配電盤・制御盤等のシステム装置の製造工程等を見学した。参加者からは、生産現場に導入されている最新のICT、IoT技術について多くの質問が出され、関心の高さがうかがえた。

新工場が竣工

東毛福祉事業(協)



完成した新工場

平成29年3月より改築工事を進めていた新工場がこのほど竣工した。工場は、鉄骨造りで、敷地面積10,130㎡、建物延床面積4,025㎡。食の安全性を確保するためのHACCPに対応した最新鋭の衛生環境を備えている。

横山順一理事長は、「これからも安心・安全な食の提供を旗印に地域社会のニーズに応えられるよう役職員一同、より一層の努力をしていきたい」と抱負を語った。